

2019年度事業報告

(1) 遊びをはじめとした子どもの最善の利益を保障する事業

〈日常開園〉

(2) 子育て・子育ての環境づくり事業

〈森のひろば〉 〈講演会〉

(3) 子どもの社会参画事業

〈みんなのまち〉

(4) 子どもを中心としたまちづくり事業

〈共同事業〉 〈晴れた日には学校を休んで〉

(5) 人材育成事業

〈みちくさクラブ〉 〈森のランチ会〉

(6) 広報啓発事業

〈てんかつ〉 〈あそんじゃえー〉 〈広報〉

(7) 会議の開催

2019年度事業報告

(1) 遊びをはじめとした子どもの最善の利益を保障する事業〈日常開園〉

【開園日数・子ども、大人の来園者数】

月(開園日数(日))	4月(18)	5月(18)	6月(18)	7月(20)	8月(11)	9月(19)
日常開園	1,029	668	857	742	249	552
森のひろば	30	369	327	166		236
てんカツ	—	100	37	73	50	41
みんなのまち あそんじゃえ		98 (みんな)				55 (みんな)
みちくさクラブ ランチ会	—	15	22	29	—	37
合計(人)	1,059	1,250	1,243	1,010	299	921
月(開園日数(日))	10月(22)	11月(20)	12月(17)	1月(18)	2月(17)	3月(10)
日常開園	773	774	694	521	512	635
森のひろば	474	417	136	124	131	—
てんカツ	26	81	67	91	159	—
みんなのまち あそんじゃえ	103 (あそん)	85 (あそん)	63 (あそん)	108 (みんな)		
みちくさクラブ ランチ会	15	21	14	7	25	—
合計(人)	1,391	1,378	974	851	827	635

※合計 11,838人 開園日数 208日
 長期休みを考慮せず、12か月で割る単純計算で月平均 986.5人
 開園日数で割ると、一日平均 56.9人

<p>〈開園日〉 毎週火曜～金曜 毎月第3土曜と翌日曜日 ☆4月、10月、11月、12月 第1土曜日と翌日曜日 8月 第5土曜日と翌日曜日 3月 第2土曜日と翌日曜日</p>
<p>〈開園時間〉 午前10時～午後5時 ☆5月14日(火)～9月13日(金) サマータイム 午前11時～午後6時</p>
<p>〈長期休み〉 夏休み 8月6日(火)～8月19日(月) 冬休み 12月26日(木)～1月6日(月) 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため 3月3日(火)～3月13日(金)</p>

【プレーワーカー所感】

一年を振り返り感じたこと、人と人との関係性が濃くなっていると感じています。

森のひろば二年目になる子どもたちや、一年を通して来ていた子どもたちの中には、場に慣れ、親を気にせず友だちと一緒に遊び込む姿が見られるようになってきました。同じ顔ぶれで会う・遊ぶをくり返すことは大きいと思います。仲間意識が生まれている様子もうかがえました。

親はその様子を遠くから見守っています。親の安心が子どもに伝わり、のびのびと遊ぶ姿が見られます。又、同じ顔ぶれで会うことで我が子だけでなく、みんなで子どもたちを見合い、子どもたちも自分の親でない大人と遊び、頼っている様子が見られます。

小中高生は、遊ぶ・話す中で気持ちをつぶやいたり、吐露したり。親ではない大人と信頼関係が出来ることで、日々いろんな考えと出会っているのではと思います。

親も子育ての悩みを聴き合い、笑い合う姿を多く目にし母親同士で関係性が作られ広がっています。

11月から始まった火曜日企画“晴れた日には学校を休んで”では、今まで人に話せなかったことが話せた、同じような思いを持った人と出会えたかったという方たちのホッとされている表情を見て、これからは考えていけるきっかけの場になるのではと可能性を感じています。

運営状態を気に掛けて下さる方も増えました。一緒に考えたい、考えるよという方たちが増えていると受け止めています。

自身のことで言うと、初めて来られた方、看板を見て下さっている方に、声を掛けに行くことを意識しています。親がプレーパークに入りやすくなれば、子どもたちが遊ぶ・遊び込めるきっかけになるかもしれない。子育ての話もたわいのない会話から始まることが多い。みんなが自分の持ち味を安心して出し合える場にもしていきたい。

2月、新型コロナウイルス感染症のニュースが入り、あっという間に日常生活に直結することになってしまいました。そんな中、開園・閉園に関して子どもたちと一緒に気持ちや考えを言い合い、話し合うことが出来ました。一緒に過ごす人たちのことや、プレーパークを考えている。とても心強く、うれしく思いました。みんなでその都度話し合い、最善の方法をとってきたと思います。

遊ぶこと、人と集い話し過ごすことが、そう出来る場が、どれだけ大切で必要かということを改めて強く感じています。遊びとプレーパークを真ん中に築いてきた関係性を、開園したら場を開けることでみんなが取り戻せるように。繋げたい、その為に動きたいと思います。

【ケガ】

ケガ(擦り傷、切り傷)、べっこう飴作り時の小さな火傷はあったが、大きなケガはなかった。子どもの切り傷で血を見て驚いて不安になっている保護者には、地域の医療地図を一緒に見ながら、近い外科を伝えたり、病院に電話を掛けて取り次いだりした。

気を付けたいこととして、人が多くいる時(森のひろば申込日で保護者が申込書を書いている時や、休日開園日等)に我が子の姿が見えなくなり、皆で探すということが数件あった。申込日は下の通路で遊んでいる子どもたちをスタッフと一緒に見てはいるが、プレーパークに初めて来る子どもたちにとっては、人の多さから親が見えず、場所にも慣れていないので歩き回る子もいる。駐車場の方

まで歩いてきた子もおり、子どもが駐車場・池に一人で向かうことがないように、保護者に互いに見守ろうと声を掛け、こちらも気を付けたい。

【取材】

- 8/27(火) ボランティアネイバーズ 2名 ヒアリング
- 9/10(火) エデュコレ 2名
- 10/3(木) 土木事務所
ボランティアネイバーズ 6名 ヒアリング
- 3/14(土) 中日新聞社 記者 1名

【見学】

- 7/25(木) 愛教大大学院生 2名 子ネットスタッフと
- 9/17(火) 愛教大大学院生 …その後何度も遊びに来られ、インタビューも取っていた。
- 12/4(水) 尾張旭市役所 2名
天白土木事務所 1名
- 12/15(日) 品川おばちゃんち 1名
- 3/15(日) 相生山緑地を考える市民の会 6名
岐阜県立看護大学生からボランティア、エデュコレより見学の要望が3月にあったが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため辞退、中止となった。
一年通して、場を作りたいと考えておられる方々が遊びがてら多く来られた。遊ぶ様子や小屋の中を見学され、話をした。

【訪問】

- 1/29(水) なごもっか スタッフと面談
- 2/3(月) なごもっか スタッフと面談
- 2/6(木) 名古屋市役所本庁 河村市長と面談
- 3/8(日) 相生山緑地 相生山緑地を考える市民の会の方たちと緑地を回り、遊び場について考える。
- 3/9(月) 新教育館 スタッフと面談

【天白土木事務所とのやりとり】

- 7/10(水) 山の中の立ち枯れしている木について連絡。
→7/23(火) 確認に来られる。
- 8/22(木) 山の中に放置してあったテント等について連絡。プレーパークまで運んだが、これからは発見したら、動かさずに連絡をするよう言われる。持って帰られた。
- 9/2(月) 水飲み場近くの木の上のくぼみにスズメ蜂の群れを見つけ、連絡。
→巣はなく、蜜が出ているので追い払っても又来るとのこと。看板を取り付け、その後 何度かスプレーをかけに来られた。
- 9/17(火) 小屋の屋根の軒下に蜂の群れを見つけ、連絡。
→巣はなく、スプレーで退治
年明けから数日にわたり、立ち枯れの木を伐採、撤去。散策路より山の中側にある倒れてしまった木、数本は撤去されずそのまま置いてある。

【団体の参加】

- 11/19(火) ももやま(自主保育グループ) 焼き芋
- 12/13(金) ももやま(自主保育グループ) あそぼーパン

【地域連携の会に参加】

4/10(水) 天白子ども会連合会にてリーフ配布
 6/25(火)・2/26(水) 天白児童館 サービス向上委員会
 11/26(火) 天白子育て支援者交流会

【物品の寄付】

木材、端材、工具、乗り物、工作材料、画材、コピー用紙、菓子、食材、調理器具、火挟み、遊び道具 等、地域の多くの方から頂いた。

(2) 子育て・子育ての環境づくり事業告〈森のひろば〉〈講演会〉

【森のひろば】

〈事業内容〉

春と秋は水曜日と金曜日にそれぞれ 10 回開催。冬は不定期に 1 週間 1 回開催。

対象 未就園児の親子

春と秋は事前に募集して参加者を募る。参加者が交代で当番になりメニューを決めてスタッフと一緒にお昼ご飯を作る。お昼ご飯ができるまで参加親子はどろんこ遊び、水遊び、どんぐり拾いなど自由に遊び、自然に親しみながらのんびりゆったり過ごしてもらう。みんなでお昼ご飯を食べて自由解散。冬は申し込み不要。スタッフが中心となって煮込みうどんを作る。

〈参加費〉

(お試し) 1 回 300 円
 (春・秋) 各 10 回 5,000 円
 (冬) 1 回 500 円 通し申し込み 4000 円

〈申込者〉

(お試し) 春 15 組 秋 53 組
 (春) 水曜日 28 組 金曜日 23 組 計 51 組(前年度 36 組)
 (秋) 水曜日 34 組 金曜日 36 組 計 70 組(前年度 56 組)
 (冬) 全 12 回(14 回予定のところコロナウィルス感染症拡大予防のため中止)
 参加者 72 組 延べ 186 組 1 回平均約 15.5 組

〈メニューと参加者〉

春の森のひろば

水曜日開催			金曜日開催		
月日	メニュー 遊び	参加組	月日	メニュー 遊び	参加組
5/8	あんかけご飯 キッチン・どろんこ・水遊び	23	5/10	あんかけご飯 水遊び・どろんこ・三輪車	22
5/15	カレーライス+フルーツポンチ どろんこ・水遊び・キッチン	24	5/17	塩こうじ鍋+フルーツポンチ 絵の具遊び・どろんこ・水遊び	21
5/22	豚汁+焼きバナナ どろんこ・水遊び・キッチン	25	5/24	ホットケーキ+野菜スープ 水遊び・絵の具遊び・どろんこ	16

5/29	豚肉と野菜のサラダ 桑の実取り	24	5/31	長巻き寿司 水遊び・絵の具クレヨン・ヨガ	21
6/5	ポトフ+わらび餅 水遊び・どろんこ	25	6/7	夏野菜カレー+ヨーグルト 雨の中カメ発見・シャボン玉・絵本	15
6/12	長巻き寿司+せんべい キッチン・水遊び・三輪車	22	6/14	冷やしうどん+白玉ぜんざい プール・三輪車・どろんこ	21
6/19	ピラフ+フルーツ プール・三輪車・どろんこ遊び	19	6/21	冷やし茶漬け+わらび餅 プール・三輪車・池遊び・泥遊び	19
6/26	サラダうどん+寒天ゼリー プール・どろんこ遊び	23	6/28	焼きそば 三輪車・どろんこ・雨遊び	17
7/3	流しそうめん プール・水遊び・たんざく飾り	24	7/5	流しそうめん キッチン・プール・水遊び	20
7/10	冷やし鮭茶漬け+ゼリーすくい プール・水遊び	20	7/12	冷やし中華+スイカ割り プール・水遊び・三輪車	19

秋の森のひろば

水曜日開催			金曜日開催		
月日	メニュー 遊び	参加組	月日	メニュー 遊び	参加組
9/18	あんかけご飯 ままごと・たきぎ拾い・三輪車	30	9/20	あんかけご飯 水遊び・遊具・三輪車	30
9/25	焼きそば 水遊び・乗り物・お絵かき	26	9/27	カレーライス 水遊び・遊具・三輪車	24
10/2	お茶漬け+フルーツヨーグルト ままごと・どんぐり拾い	27	10/4	鶏団子うどん 水遊び・バイク・ままごと	26
10/9	カレンダー+焼きバナナ ままごと・どんぐり拾い	28	10/11	けんちん汁 ままごと・どんぐり拾い	28
10/16	煮込みうどん+フルーツポンチ ままごと・どんぐり拾い	25	10/18	味噌汁 水遊び・バイク・ままごと	24
10/23	ミネストローネ+ゆず茶 乗り物・水遊び・ままごと	25	10/25	トマト鍋 雨水遊び・読書・お絵かき	13
10/30	クリームシチュー+マシュマロ ままごと・どんぐり拾い	27	11/1	カボチャスープ+焼きリンゴ 三輪車・滑り台・どんぐり拾い	28

11/6	すいとん+焼きリンゴ ままごと・どんぐり拾い	24	11/8	ちゃんこ鍋+焼き芋 どんぐり拾い・お絵かき・三輪車	28
11/13	餅つき+野菜スープ 水遊び・段ボール・ままごと	19	11/15	餅つき+野菜スープ 水遊び・段ボール・ままごと	32
11/20	トマト鍋+焼きバナナ 山遊び・三輪車・ままごと	30	11/22	味噌豆乳スープ(すいとん入り) ままごと・絵本・遊具・三輪車	30

冬の森のひろば

月日	参加組	月日	参加組	月日	参加組	月日	参加組
11/27	6	12/6	23	12/11	18	12/20	23
1/10	16	1/15	13	1/24	18	1/29	10
2/7	17	2/12	10	2/21	19	2/26	13

〈所感〉

今年度は食材費の予算を抑えることにした。結果、デザート回数は若干減り、人数は増えたにもかかわらず食材費は下がった。

冬の森のひろばは、前年の参加費が会員 300 円、非会員 500 円だったものを、1 回 500 円通しで 4000 円と大きな値上げとなったが、参加人数は昨年とあまり変わらなかった。また、スタッフ一人体制で始めたが、スタッフからの要望により、途中から二人にすることになった。

また、これもスタッフからの提案により、来期のスタッフの人数を 2~4 人とし支え手を増やしていくことになった。

【名古屋市安心・安全・快適まちづくり活動補助金】

〈事業内容〉

2/10(月) 塚本岳氏 講演会「遊びで育つ心の根っこ」

〈参加費〉

無料

〈参加者〉

大人 65 人(+未就園児多数)

〈所感〉

昨年度まで、青空昼食会を実施していたものを、子どもに関する講演会として、塚本岳氏の講演会を開催。区内はもちろん、区外、市外、県外からの参加もあり、外遊びの大切さの理解と同じ想いを持つ同志との出会いの場にもなった。

(3) 子どもの社会参画事業〈みんなのまち〉

【名古屋市社会福祉協議会 地域の子ども応援事業(みんなのまち)】

〈事業内容〉

子どもたちが店主となり自由に自分のお店を出しまちを作る。大人は口出ししないで子どもが考えて作ったユニークなお店を見守る。参加者には 200 らく(まちの通貨)を配り、お店を出さない子どもや大人は客になって参加する。昨年度からは大人も自分のお店を出せるようになり、名称を“こどものまち”から“みんなのまち”に変えた。

〈 参加費 〉

子ども大人とも 1 人 100 円

〈 内容と参加者 〉

日時	参加人数	概 要
5/18(土)19(日) みんなのまち開催	18 日 100 人 19 日 98 人	子ども・大人の店両日合わせて 25 店程度の出店。例年通り当日はたくさんの人で賑わって。しかし事前の会議は、参加人数の減少で昨年度までのような話し合いは出来なかった。
7/1(月) みんなのまち 座談会	15 人	大人の手出しや口出しについて禁止するのではなく、またそうする思いを否定することなく、どうしたら気持ちよくまちをやることができるのかを考えようと、大人のための座談会を行った。これまでのまちの写真をプロジェクターで映しながら、その時の様子や親の気持ち、やってしまった失敗などをざっくばらんに話し合った。子どもへの声かけなどについて考えさせられつつも、笑いの絶えない会となった。
8/31(土)9/1(日) みんなのまち開催	31 日 65 人 1 日 55 人	両日合わせて 24 店ほど。以前から店を出している子に加え、新しい顔ぶれも。大人の店も定番化してきた。
12/24(火)25(水) アルミ玉自慢しち ゃおうぜ～大会	10 人	11 月初めごろからアルミホイルを固めて玉を作る子が現れ、一カ月以上続く大ブームとなった。そこで作ったアルミ玉を見せ合い自慢しあう会を企画。当日は自発的に賞品を買ってくる子が登場。エントリー表を作ったり、周りにいた子ども・大人に点数をつけてもらったり、優勝者に賞品も授与された。
1/19(日) みんなのまち開催	108 人	会議をするまでの力には及ばないが、まちをやりたい思いはたくさんの子にあり、やることに決定した。ふたを開けてみれば 28 のお店が開かれ、大きく盛り上がっていた。今まで店として参加していなかった高校生の力が発揮された。

〈 所 感 〉

昨年度は子どもたち主体による会議を重ね、こどものまち活動を中心に子どもたち自身が意見を出し実行に移していく過程での責任や葛藤の中で、成長していく姿をみる事ができた。そして子どもたちの意見により「こどものまち」から誰でもお店が出せる「みんなのまち」へと発展した。しかし今年度に入り、中心となって動いていた小学校高学年～中学生の子のやりたいことが別のものによって、昨年度のような会議はできなくなった。そんな中、今まで中心となっていた子たちより低い年齢層の子たちから、「みんなのまちはいつやるの？やりたい！」との声上がり、今年度も 3 回も開催することが出来た。

そして今年 1 月に行った「みんなのまち」では、これまでの流れをずっと横目で見ながらも、まちには消極的だった高校生が力を発揮し、下の年齢の子どもたちがその力に引っ張られていく姿をみる事ができた。このような関係性をさらに発展させていきたい。

また 7 月に行った座談会では、大人の率直な意見がたくさん出され、参加者の 1 人から、まちに参加する大人に向けてのメッセージ文が生み出された。これにより、ますます大人と子どもが手出し口

出しを必要としない、依存一命令 ではない、対等な関係の中で創り上げられる事業と遊び、そして遊び場を目指していきたい。

12月には子どもたち主導で「アルミボール自慢大会」も行われた。

(4) 子どもを中心としたまちづくり事業〈共同事業〉〈晴れた日には学校を休んで〉

【758 キッズステーション】

「そとへいこう」年8回 月曜日 4/15・4/22・6/3・10/7・10/28・11/25・12/2・3/2

※12/2 雨のため中止、3/2 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止

【天白児童館】

4/23(火) 移動児童館 i n てんぱくプレーパーク 焼きバナナ

11/29(金) 移動児童館 i n てんぱくプレーパーク 焼き芋

【天白子ネット】

5/28(火) 瞳きらきら

8/6(火) 子育て広場

2/13(木) 子育て広場

【地域子育て支援拠点 きゃら】

外遊び企画 年2回 月曜日 9/9・3/23 植田公園にて

3/23 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止

【区役所・地域力推進室(天白もりフォーラム)】

7/15(月・祝) 天白公園整備クラブ共催 竹で作ろう・竹で遊ぼう(水鉄砲づくり)

【緑児童館】

8/8(木) にいのみプレーパークへ派遣

【豊橋市交通児童館】

外遊びを考えていきたいという依頼を受け、出張プレーパークを実施

9/5(木) 打ち合わせ

10/26(土) 当日

【中川児童館】

10/31(木) おでかけ児童館 i n てんぱくプレーパーク 汁物、あそぼーパン

【多様な教育の博覧会エデュコレ 2019in 東海】

11/10(日) ブース出展 プレーパークの広報活動

11/12(火)から始まる企画“晴れた日には学校を休んで”の告知

【生涯学習センター子どもまつり】

〈事業内容〉

2/23(日)

- ・ミニプレーパーク 炭火でべっ甲飴、のこぎり・金づちで工作、こま回し
- ・模擬店 豚汁・ポップコーン販売

〈 所 感 〉

豚汁 200 食、ポップコーン 200 食を予定していたが、コロナウィルス感染の不安からお客さんの減少が予想されたため、豚汁は 100 食に減らして作った。

当日は、朝からの激しい雨にもかかわらず、まあまあの人出で、子どもたちの売り子のお手伝いもあり、2 時頃には完売した。

【晴れた日には学校を休んで】

〈 事業内容 〉

毎週火曜日 10～14 時半開催

対象 学校と子ども・学校と私 の関係を考えてみたい子どもと大人

不登校児童層の数は、2019 年文科省の調査で小・中学校だけで 16 万人を超え、名古屋市内でも小学校では学年に一人、中学校ではクラスに一人の生徒が不登校になっている。

プレーパークでもこの課題について取り組みたいと、11 月 10 日に行われた「多様な教育の博覧会 エデュコレ 2019in 東海」の出展を機に 11 月 12 日よりこの事業を立ち上げた。

自分の気持ちを押し殺して無理に学校に行くことなく、行き渋るこどもを無理に登校させるのではなく、晴れた日には学校を休んで一息つけるようにしたい。そして学校に行く行かないという結果を重要視するのでなく、その子やその親の思いを聴き、整理できる場所にする。

日常的な活動としては、毎週火曜、親たちは持ち寄った材料で昼食をつくり火を囲みながら、みずからの思いをはき出せる時間を用意する。子どもは一緒に料理を作ってもいいし、自由に遊んでもよく、学校の時間帯に公園に居てもいいのだという安心感を得られるようにする。またこの事業に参加しない人も汁物だけ飲めるようにし、平日昼間のゆっくりしたプレーパークの時間も大切にす。

〈 参加費 〉

一組 200 円～（汁物のみ 100 円～）とカット野菜

〈 所 感 〉

今年度は試運転という形で取り組み、毎回 2～3 組の参加があった。次年度からは名古屋市福祉協議会の地域の困りごと助成事業として活動していく。そしてゆくゆくは地域住民同士で支え合える活動として、親や地域住民が語り合い、学校に行っていようがまいが、すべての子どもたちありのままを受け入れられる土壌をここにつくりたい。

（5）人材育成事業 〈みちくさクラブ〉 〈森のランチ会〉

【 みちくさクラブ 】

〈 事業内容 〉

毎月第 1 土曜日（4, 5, 8, 1 月除く）開催

対象 会員

今年度は 10, 11, 12 月をゆめ基金助成金事業「遊んじゃえー」の開催日にあてたことと 3 月休園のため 4 日の開催。会員を対象に、実技継承のための人材育成と親睦を目的としている。1 週間くらい前にポスター、HP、SNS でメニュー・作業内容を掲示して参加者を募集。

〈 参加費 〉

一括払い 4,000 円 単発 700 円

〈 メニューと参加者 〉

月	メニュー	参加	月	メニュー	参加
6/1	タコライス	13 人	7/2	バインミーとトウモロコシ	20 人
9/7	防災クッキング	18 人	2/1	だんご鍋	17 人

〈 所 感 〉

毎回 7,8 家族 20 人弱が参加した。参加者全員で材料を持ち寄り調理し昼食をとっている。毎回趣向を凝らしたメニューで好評を得ている。

調理、食事をともにする中で、日頃気になることや改善したいことなどを話し合い、次回以降の活動につなげている。2 月は天白子育てひろば(2/13@天白スポーツセンター)で使用する竹台を作成した。今後も小屋の整備や森の保全などプレーパークを下支えする活動を行っていききたい。

【 森のランチ会 】

〈 事業内容 〉

月 1 回不定期開催

対象 主にお子さんが幼稚園児以上の親御さん

平日昼間に大人同士でランチを楽しむ時間を作るために企画(子どもとの参加も可)。アウトドアのランチを楽しみながら、子育てやプレーパークについて話し合う場とする。

〈 参加費 〉

9 月まで 1 人 500 円 (会員 300 円) 10 月より一律 500 円

〈 メニューと参加者 〉

月	メニュー	参加人数(組)		月	メニュー	参加人数(組)	
		会員	非会員			会員	非会員
5/16	ビーフストロガロフ	13	2	6/13	ソーミンチャンプルー	7	2
7/11	冷や汁	5	4	9/19	秋のお魚定食	10	9
10/24	秋の和風シチュー	15		11/21	芋煮会	21	
12/12	チキン&トマト鍋	14		1/23	キムチ&豆乳鍋	7	
2/20	レモン鍋&炊きたてご飯	8		3	—	—	

〈 所 感 〉

幼稚園・学校の長期休みがない月の平日の昼間に開催した(予約不要)。今年度の大きな変化は、森のひろば参加者からの数人が、中心メンバーとして一緒に動いてくれたこと。アイデアをたくさん出してくれて、珍しいメニューも作った。メニュー決めから買い出し、当日の作業も楽しんでくれたことが何より嬉しかった。印象に残るのは12月。「丸鶏ってピア缶を使って焼けるらしい!」ということで、どうやって焼くのかをそれぞれが調べたり周りに聞いたり、当日も参加者と一緒に試行錯誤しながら作ったのは楽しかった。新規の親子の参加が多い月は嬉しい反面、当日の作業に追われることもあった。ランチ会の雰囲気が好きで、継続して参加する人たちにとっての問題も出てきた。しかし今年度を通して雰囲気が良い方向に向かっているなど感じる事ができた。

(6) 広報啓発事業 〈てんかつ〉 〈あそんじゃえー〉 〈広報〉

【てんカツ(てんぱくプレーパーク活動応援日)】

〈事業内容〉

毎月第3土曜日開催

てんぱくプレーパークの活動応援日、略して「てんカツ」。てんぱくプレーパークをたくさんの方に楽しんでもらい応援してもらうための日。運営費として参加費をいただいている。春には天白公園の食べられる野草をみんなで探しみんなで食べる食ing、夏には竹の台からみんなで作る流しそうめ

ん、冬にはおもちつき、人気のあそぼうパンなど食事の企画もある。初めての方も予約なしで参加可能。

〈参加費〉

子ども 100 円 大人 500 円

〈メニューと参加者〉

月	メニュー	天気	子ども	大人	参加者計
4/6	食 ing	晴	60	43	103
5/18	あんかけ	晴	60	40	100
6/15	流しそうめん	雨	22	15	37
7/20	流しそうめん	雨	44	32	76
8/31	カレー	曇	28	22	50
9/21	防災クッキング	曇	21	20	41
10/22	あそぼうパン	曇	13	13	26
11/16	カレー	晴	43	38	81
12/15	豚汁	晴	37	30	67
1/18	どんと焼き	晴	51	40	91
2/15	もちつき	晴	89	70	159
3/14	もちつき (コロナウィルス対策のため中止)		-	-	-
計			468	363	831

※4/6 は法人格取得前の実施だが参考のため記載

〈所 感〉

天気や内容によって参加人数が大きく変わるのは、例年通りの傾向だった。

今年度は参加人数が増え、雨が多かったり 3 月に開催が出来なくとも、昨年度とほぼ変わらない収入があったのは良かった点ではあるが、人数が増えるにつれスタッフの負担感が増し、参加者も含めたみんなで作っている感じが少なくなっているように思う。

プレーワーカーの日常の雰囲気づくりや、人とのつながりを作ってきたことによって、「メニューが美味しそうだから来る」ということだけでなく、遊びや関係を求めて参加してくれる人も増えてきたように感じる。そのため次年度は食事メインの内容から、遊びをメインにした企画も取り入れていきたい。具体的には、コマや釘指し大会、あるいはプレーパークの看板づくりや森の手入れなどを考えているが、子どもたちや支えてくれる人たちと柔軟に考えていく。

【国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金助成金事業(あそんじゃえー)】

〈事業内容〉

働く女性の増加で、平日に延長保育、学童やトワイライトなど屋内で遊ぶ子どもが増えてきている。週末は親子で身近な天白公園へ気軽に足を運んでもらい、子どもだけでなく大人たちにも遊びを通して様々な関係性を豊かにしてもらいたい。参加者でプレーパウスの手入れを行い、プレーパークを知ってもらうきっかけにする。

〈 内容と参加者 〉

日時	参加人数	概 要
10/5(土) 木であそんじゃえ (木材あそびと 小屋あそび)	大人 45 人 子ども 58 人	子どもたちは、午前中からやりたい子がやりたい時に工作。夕方には椅子や乗り物?ができていた。大人たちはプレーハウスの屋根の修理、午後はみんなでサドリン(木材保護塗料)を木材や小屋の壁に塗りながら楽しい雰囲気で作業ができた。修理作業は理事の大影さんに相談し、当日も手伝ってくれた。
11/2(土) 火であそんじゃえ (火を使ったあそび)	大人 37 人 子ども 48 人	火おこしはやりたい子にお任せし、火がおきると子どもたちは日常の延長でべっこう飴や焼きたいものを焼いた。持ってきたえびせんやスルメイカ、マシュマロにクラッカー。途中でバームクーヘン作った。今回はカップに生地を入れて、自分で自分のバームクーヘンを焼く。 子どもたちが夕方、青年と渋柿を取りに行き、大量の渋柿をプレーパークに持って帰ってきた。それを剥くわけではないので、数名の大人たちと青年がおしゃべりしながらせつせと楽しそうに剥いて干していた。
12/7(土) 落ち葉であそんじゃえ (落ち葉あそびと クラフトあそび)	大人 28 人 子ども 35 人	午前中は木の実を探したり、子どもたちは工作。落ち葉プールも作った。お昼過ぎから参加者が増えて、熊手とブルーシートを持って落ち葉を拾いに行ったり、クラフトは子どもたちも大人たちも集中して手を動かしていた。薪割りや親子で木を切ったりしている姿も見られた。

〈 感 想 〉

「申請や報告は細かくて大変だったが、ゆめ基金の助成金通ってこの企画ができてよかった。子どもも大人も一緒になってあそぶことで、初めて味わう感覚があった。感覚だから言葉に現しにくいけれど、それぞれが違う遊びをしているのに一体感があり、大人たちが楽しむことで子どもたちに与える刺激がすごい。たくさんの参加者だったが、大変さより楽しさが大きかった。助成金の主旨があるので、主なあそびの企画はしたが、あそぶ内容はあえてしなかった。報告上、事前買い出しもして準備はしたが、なんせ担当したのが私なので抜け抜けなところが。どうする? どうしよう? とみんなので考えることができたので、それは反対によかったのではないかと思う。あそびに過剰なお膳立てはいらないと、改めて体感できた。」(担当者 M から)

「子どもたちは初ペンキ(サドリン)塗りが楽しくて、長女はまだやりたいと最後の最後まで居残り。暗くなったからと帰宅してみると、子どもたちの至る所にペンキ跡が・・・その後も靴についたペンキ跡を指さしては、『次いつやるの?』と言っています。」(10/5屋根に上がって一緒に作業した A さんから)

「ビニールひもを木に引っ掛け大勢でゆらして柿を落とす。ひもを木に引っ掛けるのが難しいが、普段培った力を発揮し、その辺であったものを何なりと使いこなす青年と子どもたち。一緒に取りに行ったが、めっちゃ楽しい。」(11/2 一緒に取りに行った唯一大人の H ちゃんから)

「うちの子どもたちは企画に関係ないあそびを一日中していましたが、それも良しとしてくれるところがプレーパークのいいところだと思います。土日しか遊びに来られないから、大変ありがたい! また来年もやってほしい!」(3日間参加した O さんから)

【 広報部 】

〈 通信 〉年4回発行 編集部員6人

今年度も会員向けに通信を発行した。自主事業、共同事業、助成金事業のお知らせ、事業後の参加者の声や様子などをお届けした。日常の様子はプレーワーカーから、常連世話人さんたちからも夕方の遊びを通しての楽しいページを届けることができた。活動報告で、内部の動きも通信を通して報告することができたと思う。お二人のコラムを毎回掲載し、お楽しみページとして子どもたちのページが作れたことは良かった(165、166号と自主的に小中学生が新聞ページを作ってくれた)。通信の感想がメール等でいただいたのは嬉しかった。

※広報 年4回発行(6月、8月、11月、2月)

・2019年度 印刷費 3,278円 発送費 21,784円 封筒代 414円

・広報会議 年4回

〈 掲示板 〉

2018年度は下の掲示板の内容と共に、理念の活発な話し合いをしたが、今年度は会議もできず進まなかった。看板自体は劣化したので、以前森のひろば参加者用に作られた紙芝居を張り出すことにした。当面の間の掲示板になる予定だが、紙芝居の内容がとても分かりやすいという声をいただいた。掲示板の周りが雑草でいっぱいだったので、草刈りをした。

上の掲示板は、森ひろのメニューや関わりのある団体のお知らせとして利用した。

下の掲示板を読んでもくださる方が以前より増えたように思う。学校の休校中に下の掲示板が壊れた。

〈 HP 〉

全体のデザインを新しいものに変更した。<http://>→<https://>に変更し、セキュリティがアップした。人気のある記事やカテゴリー別の記事を見られるようになった。「晴れた日には学校を休んで」の事業を追加した。HPのアクセスは、新聞掲載(約150人)や助成金「みんなのまち」(約75人)などがあると増えていた。プレーワーカーの記事は平均して30~40人/日アクセスがあった(新型コロナウイルス感染症拡大予防で閉園してからは、アクセスが少なめ)。

〈 その他の広報活動 〉

- ・子育て広場(8/6、2/13@天白スポーツセンター)にてリーフやチラシを配布し、森のひろばへ参加の広報をした。
- ・PAKUっ子に森のひろば、主催講演や助成金事業の広報として表面に記載していただいた。裏面のカレンダーには年間を通して、てんカツを掲載していただいた(3月除く)。PAKUっ子通信は2019年度で終了になる。
- ・助成金事業「みんなのまち」の広報は、掲示板やHPとFacebook、児童館に張り紙をお願いした。
- ・みちくさクラブ、森のランチ会はLINEを使って告知や意見のやりとりをした。
- ・リーフは、区役所、名古屋市子ども・子育て支援センター758キッズステーションや地域子育て支援拠点きゃらに置かせてもらった。配布は、天白子ネット主催の「瞳きらきら」や「エデュコレ in 東海」、てんぱくプレーパークの会主催の「ガクちゃん講演会」などで行った(保育園には配布しなかった)。
- ・「晴れた日には学校を休んで」はリーフレットと一緒に配布し、「エデュコレ 2019 in 東海」や「多様な教育を考える会」でも広報した(会員には通信と送付)。
- ・既存のリーフ以外のチラシの打ち合わせをした。

(7) 会議の開催

(1) 総会

ア 通常総会

(ア) 開催日時及び場所

令和元年 5 月 12 日 午後 2:00～4:00 天白生涯学習センター第 3 会議室

(イ) 議題

- ①2019 年度役員選出
- ②2019 年度事業計画
- ③2019 年度予算
- ④議事録署名人選出

(2) 理事会

ア 2019 年 5 月理事会

(ア) 開催日時及び場所

令和元年 5 月 7 日 10:00～13:00 プレーパーク

(イ) 議題

- ①てんカツ
- ②総会
- ③森のひろば
- ④土木事務所・資材提供
- ⑤NPO 法人
- ⑥助成金・補助金申請

イ 2019 年 6 月理事会

(ア) 開催日時及び場所

令和元年 6 月 6 日 10:00～13:00 プレーパーク

(イ) 議題

- ①プレーワーカーから
- ②みんなのまち
- ③助成金・補助金申請進捗
- ④てんカツ
- ⑤リーフ リニューアル
- ⑥今後の予定
- ⑦児童館指定管理申請について

ウ 2019 年 7 月理事会

(ア) 開催日時及び場所

令和元年 7 月 4 日 10:00～13:00 プレーパーク

(イ) 議題

- ①プレーワーカーから
- ②みんなのまち
- ③てんカツ
- ④夏休みのシフト
- ⑤子育てひろば
- ⑥今後のスケジュール

エ 2019 年 9 月理事会

(ア) 開催日時及び場所

令和元年 9 月 5 日 10:00～13:00 プレーパーク

(イ) 議題

- ①プレーワーカーから
- ②みんなのまち
- ③森のひろば
- ④てんかつ
- ⑤ゆめ基金
助成金事業

オ 2019 年 10 月理事会

(ア) 開催日時及び場所

令和元年 10 月 3 日 10:00～13:00 プレーパーク

(イ) 議題

- ①プレーワーカーから
- ②来年度について
- ③てんカツ
- ④その他
- ⑤緑政局との
話
- ⑥税理士さんとの話
- ⑦来年度について

カ 2019 年 11 月理事会

(ア) 開催日時及び場所

令和元年 11 月 7 日 10:00～13:00 プレーパーク

(イ) 議題

- ①プレーワーカーから ②来年度について ③てんカツ ④火曜企画(晴れた日には学校を休んで) ⑤今年度事業について

キ 2019年12月理事会

(ア) 開催日時及び場所

令和元年12月4日10:00~13:00 プレーパーク

(イ) 議題

- ①プレーワーカーから ②こどもまつり ③子育てひろば ④てんかつ ⑤区役所助成金事業 ⑥市社協助成金事業

ク 2020年1月理事会

(ア) 開催日時及び場所

令和2年1月9日10:00~13:00 プレーパーク

(イ) 議題

- ①プレーワーカーから ②市社協助成金 ③子育てひろば ④天白子どもまつり ⑤ガクちゃん講演会 ⑥てんカツ ⑦日曜開園 みんなのまち ⑧その他 ⑨平針原保育園 ⑩名古屋市事業化への道筋 ⑪2021年度プレーワーカー候補 ⑫HP ⑬森のひろばスタッフ会議 ⑭新年会

ケ 2020年2月理事会

(ア) 開催日時及び場所

令和2年2月5日10:00~13:00 プレーパーク

(イ) 議題

- ①プレーワーカーから ②子育てひろば ③ガクちゃん講演会 ④天白子どもまつり ⑤森パー連 ⑥その他 ⑦市長面談について

コ 2020年3月理事会

(ア) 開催日時及び場所

令和2年3月4日10:00~13:00 プレーパーク

(イ) 議題

- ①プレーワーカーから ②今後の開催について ③てんカツ ④総会 ⑤市社協 他 助成金 ⑥その他